

たくさんの人が
「同じことを考え」ていても
各自自分の考えを出し合うと
当然ひとりひとりの表し方は違うから
その場にたくさんの、少しずつ「違う考え」が集まってくる
そうすると
ひとりひとりが、出てきたたくさんの考えを自分なりにまとめて
各自それなりに納得できる「私の今の考え」にたどり着く
ひとりひとりの「今の考え」は
いずれまた
たくさんの人たちの考えや新しい見方に触れて考え直されて
変わってゆくし、多分、もっと良くなる
学ぶとは、こういうことの繰り返し
だから、誰でもいつでも学んでいるし
誰の学びにも終わりが無い

三宅 なほみ

自治体との連携による協調学習の授業づくりプロジェクト
協調学習 授業デザイン ハンドブック 第3版
—「知識構成型ジグソー法」の授業づくり—

執筆・編集 白水始 飯窪真也 齊藤萌木 三宅なほみ
執筆協力 堀公彦 櫻田忍 松本優介 相良好美
平成31年3月15日

このハンドブックに関するご意見・ご感想をお待ちしています。
本書及び付属DVDの内容を無断で複製、転載することはご遠慮ください。

〔連絡先〕 東京大学 CoREF

〒113-0033 東京都文京区本郷7-3-1

東京大学 高大接続研究開発センター 高大連携推進部門

CoREFユニット

TEL 03-5841-3682

Email info@coref.u-tokyo.ac.jp